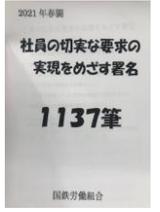


# 1,137筆を提出!

## 社員の切実な要求の実現をめざす署名



3月11日、21春闘第3回交渉の場で、全国の貨物社員からの声を結集した「社員の切実な要求の実現をめざす署名」1137筆を貨物会社へ提出した。

貨物社員は新型コロナウイルスをはじめ、度重なる災害に対し、指定公共機関としての職責を全うするべく、日夜劣悪な労働環境の下、安全輸送確保に向け奮闘している。今春闘では何としても大幅賃上げと、労働条件の改善を勝ち取らなければならない

## 貨物経営陣は「社員の声」に耳を傾けろ!

21春闘でも昨年に引き続き、「集会」等については自粛せざるを得ない事態となっているが、各職場では貨物会社に対して、要請FAX・門前ピラ、分会集会など、できる事を全力で取り組まれている。「労働条件改善署名」についても、組合員だけに留まらず他労組組合員や未加入の社員に対して取り組んだ結果、現時点で1,137筆が集約され、まだ、いくつかの地方から署名追加の集約が続いている。

今年度の収入減についての原因は明らかとなっている。会社は「まだ経常黒字は諦めていない」との主張を繰り返しているが、社員犠牲を強いる下での経営は絶対に認められない。

貨物会社に働く社員にとって、これまで構造矛盾によって生み出された経営環境、全国どの場所でも自然災害が発生しても影響を受け続け、際限なく繰り返される賃金抑制、「コロナ禍」の下でも、日夜奮闘している社員に対し、「労をねぎらう」回答が示されなければ、納得できるものではない! 経営陣は、今こそ社員の気持ちを受け止め、将来につながる回答をおこなえ!

## コロナ禍による減収を、社員に転嫁するな!

1,137筆の署名の重みを尊重するならば、  
21春闘での有額回答は必然である!  
これまでの利益の積み上げは  
社員の努力によるものであり  
今こそ社員の生活改善を図るべきである!



## 「ベアなし」では生活改善はできない! 経営陣は判断をすべきである!